

府中市 橋梁長寿命化修繕計画



【概要版】

令和5年3月

(令和7年12月一部改訂)

府中市 都市整備部 道路課

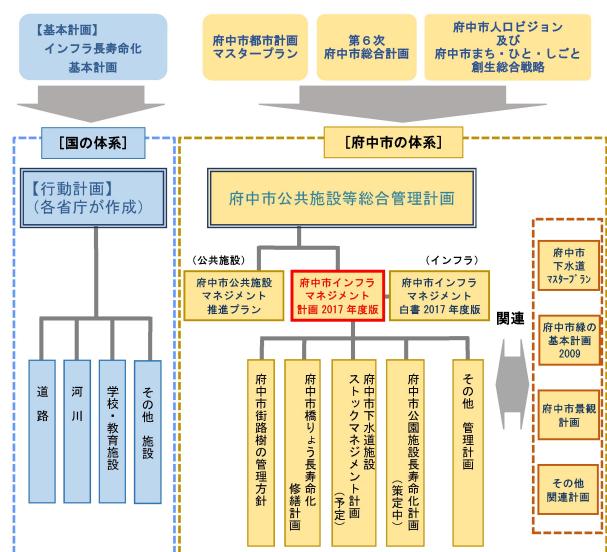
はじめに

府中市は、戦前から日本製鋼所東京製作所や東芝府中事業所など産業の拠点が置かれるとともに、東西南北（区部・東京郊外・神奈川県および埼玉県）を結ぶ交通の要所であったことから、インフラが比較的早い時期から整備されてきました。また、様々なインフラのうち道路については、人の移動や物流を円滑にするネットワークの役割をもっており、さらに橋梁はネットワークを途切れることなく結ぶ重要な道路施設として産業や市民生活を支えています。

これらインフラは、ひとたび災害や事故が発生することでその機能を失った場合、人命や社会経済に及ぼす影響は甚大であり、いかに機能を保持し管理していくかが重要になります。平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）や平成28年に発生した熊本地震、平成24年に発生した笹子トンネル天井板崩落事故などは、インフラの安全性や信頼性を大きく揺るがし、防災や老朽化に対する意識が高まるきっかけになりました。特に、高度経済成長期に多くのインフラが整備された我が国においては、老朽化対策が喫緊の課題となっており、国土交通省では平成25年に道路法の一部改正を行い、平成26年に「道路橋定期点検要領」等を示して橋梁やその他道路施設について点検を義務化しています。府中市においては、令和2年から令和3年にかけて全ての管理橋梁で2巡目点検を行いました。

一方、わが国ではかつて先進国が経験したことのない少子高齢化や人口減少に直面しています。そのような状況に伴い社会保障費が著しく増加し、現在では支出が1990年に比べて3倍程度（約30兆円）にのぼっています。府中市においても社会保障費の増加は避けられず、インフラの管理に向けられる財源には限りがあることになります。

このような中、総務省から各自治体に対して「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請が出され、特に老朽化対策については長期的な視点に立つて適切な維持管理を行い、トータルコストの縮減や平準化が求められました。府中市においては、これら施策に先駆け平成25年1月に「インフラマネジメント計画」を定め、計画的なインフラの管理と適切なコスト管理を進めることで市民生活の安全を確保する管理方針を打ち出しています。また、「インフラマネジメント計画」を上位計画とし、各インフラの個別管理計画の策定を進めています。



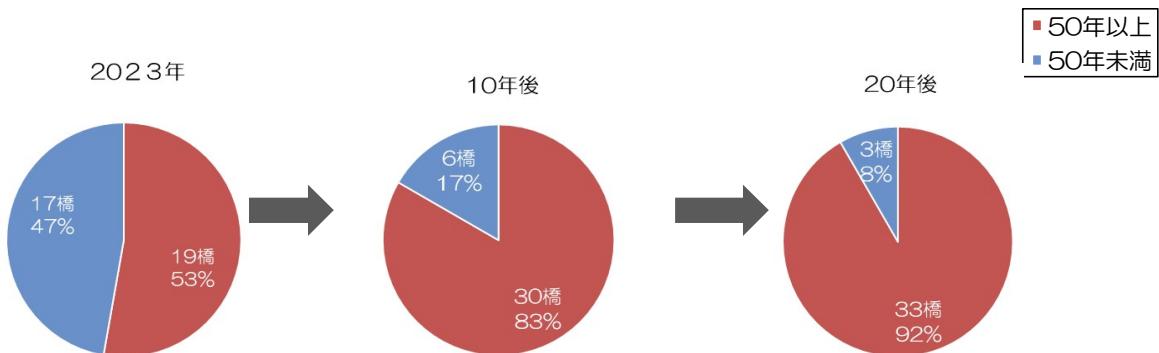
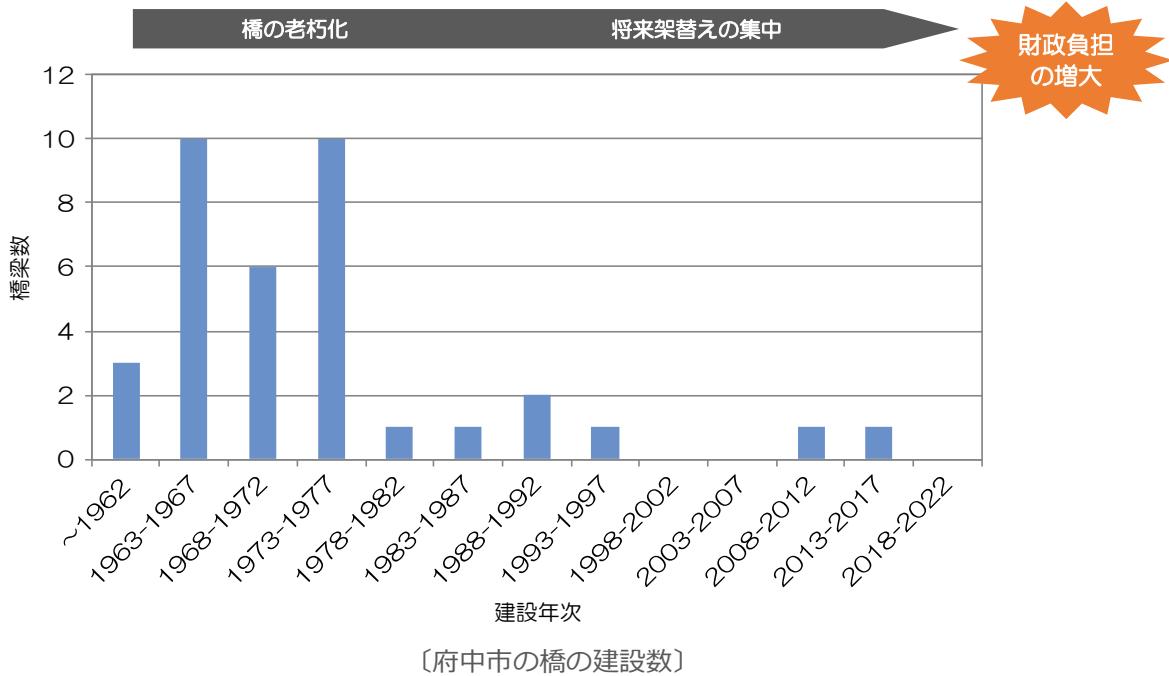
〔府中市インフラマネジメント計画の体系〕

橋梁長寿命化修繕計画は、「インフラマネジメント計画」の中の橋梁に関する個別計画と位置付けられ、道路交通の「安全」「安心」を持続的に確保していくため、維持管理費用の縮減や平準化、橋梁の長寿命化を図るとともに、必要に応じて適切な対策をすべく事業計画を定め実行していきます。

また、令和2年度と令和3年度に実施した2巡目の点検結果及び道路メンテナンス事業補助制度要綱の改正を踏まえ、同計画を一部見直し、橋梁長寿命化修繕計画の基本方針を定めました。

1. 橋梁長寿命化修繕計画の目的

府中市は現在36橋の橋（きょうりょう）を管理しています。これらの橋は今後、老朽化が進み、架替えによる財政負担が大きくなることが懸念されます。計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路の安全・安心を確保するとともに橋の長寿命化を図り、老朽化する橋の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行うことを目的とします。また、点検により橋梁の状態を把握、事業計画を立案して対策を実施し、健全性を回復、維持していきます。



[建設後50年以上の橋の推移]

※建設後に拡幅が行われる等により構造形式が1橋で2つとなる橋梁では、建設年が不明なものを除き、古い構造の建設年により計上します。

2. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

橋梁長寿命化修繕計画の対象とする橋は、府中市が管理している全ての橋としています。

	道路橋	歩道橋	合計
対象橋梁	21	15	36

(橋)

3. 橋梁長寿命化修繕計画の基本方針

【老朽化対策の基本方針】

方針1 橋梁の構造特性（設計時の技術基準）に応じた維持管理方法を計画します

方針2 健全性を把握する指標は、「道路橋点検要領」に定められた「健全性の判定区分」(I, II, III, IV)に加えて、「橋梁点検要領」に定められた「対策区分判定(A,B,C1,C2,E1,E2,M,S1, S2)」を用いることで、定期点検後に実施すべき維持管理事業を明確にするとともに、定期点検結果と本計画を連動させます

方針3 橋梁の老朽化対策を実施するにあたり、健全性の観点に加えて、道路、交差物件等の重要性、さらに橋梁が防災上の弱点とならないための耐震性能を総合的に評価した対策実施優先度を設定します

【費用縮減に関する方針】

方針1 予防保全型管理によるLCCの縮減を目指します

方針2 橋梁の集約化・撤去・簡易構造架替え等によるLCCの縮減を検討します

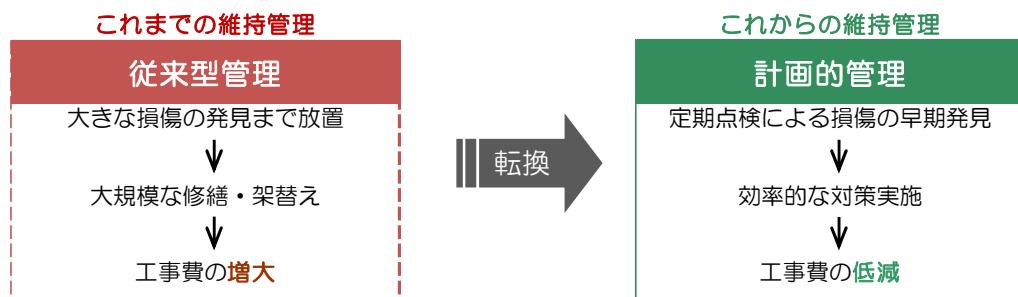
【新技術等の活用方針】

方針1 新技術・新材料・新工法等の活用により、定期点検や修繕事業等の効率化、高度化、費用縮減等を図ります

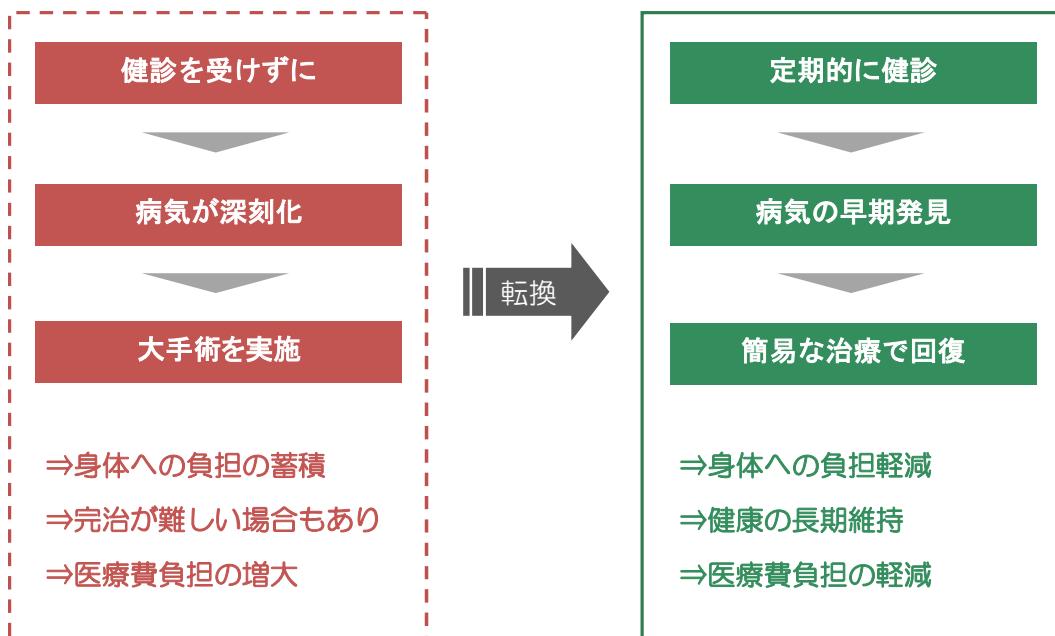
方針2 新技術の導入にあたっては、各事業（定期点検や修繕事業等）を実施する際に、改めて詳細条件を踏まえた導入検討を行い、妥当性を確認した上で導入することとします

4. 橋梁長寿命化修繕計画の内容

- 令和2年度と令和3年度に実施した2巡目の橋の点検に引き続き、今後も5年間隔で定期点検を行うことで安全確保に努めています。
- 点検による健全性の評価と交差条件や路線の状況等に応じた橋梁ごとの重要性から優先順位をつけて、効率的で計画的な修繕を行います。
- 橋の損傷が深刻化してから大規模な修繕や架替え更新を行う対症療法的な**従来型管理**から、損傷が深刻化する前に計画的な修繕を行う**計画的管理**へ転換し、橋の長寿命化を図ることで、維持管理費用の縮減を図ります。
- 一定期間の橋の維持管理にかかる費用であるライフサイクルコスト（LCC）の試算を行い、計画的な維持管理へ転換した場合の効果を確認します。

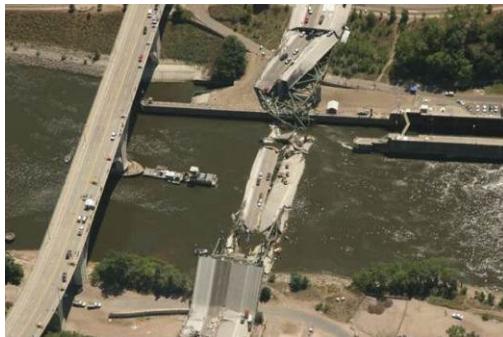


◆ 人間に例えると・・・



【アメリカの落橋事故】

アメリカでは1980年代にインフラの老朽化の問題が顕在化しており、過去には多くの死傷者を出した落橋事故も発生しています。次の写真は、アメリカの中西部に位置するミネソタ州ミネアポリス市で発生した落橋事故です。我が国では、戦後このような多数の死傷者を出す落橋事故は発生していませんが、老朽化した橋梁を放置すれば、いずれこのような事故が発生することが懸念されます。



〔橋梁崩壊後の状況〕

「米国ミネアポリス橋崩壊事故に関する技術報告」（国土交通省）より

【府中市のこれまでの取り組み】

①定期点検

府中市では、令和2年から令和3年にかけて近接目視による2巡目の橋梁点検を行っています。近接目視をするために、梯子や橋梁点検のための特殊な車両を使用しています。



②補修工事

府中市では、平成30年度から第1期計画に基づく補修対策事業に着手しており、今後も橋梁の安全な利用ができるように対策を実施しています。

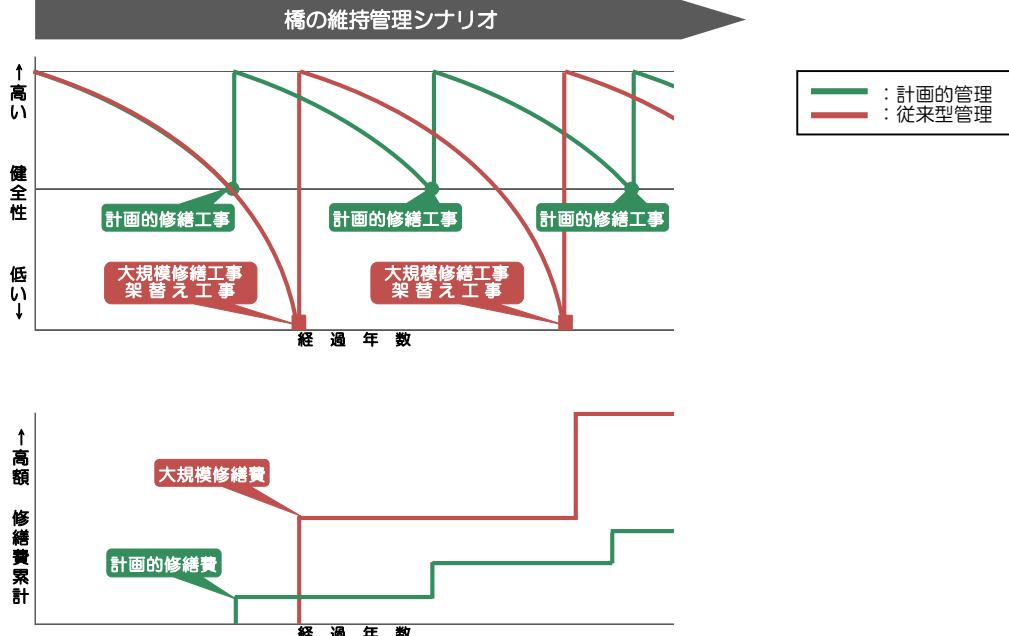


[補修対策の状況]

5. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

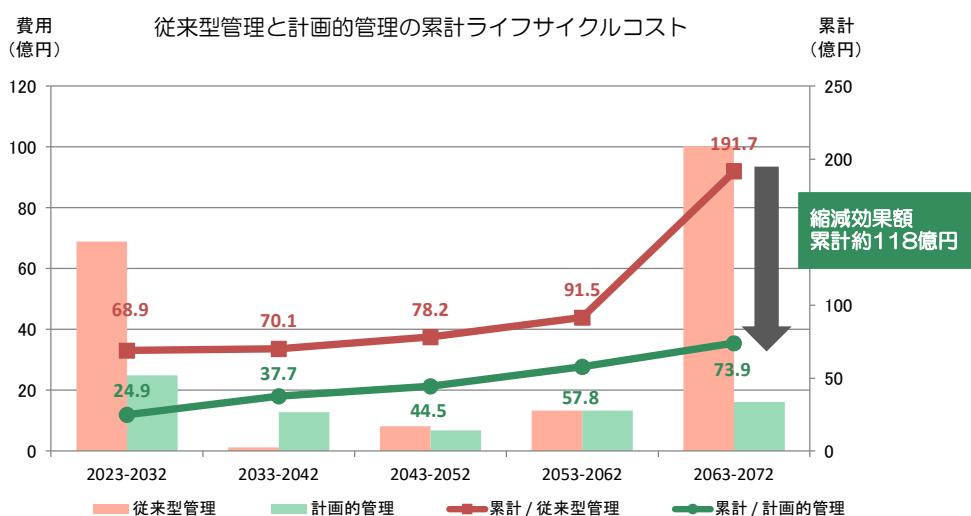
【橋の長寿命化と安全性の確保】

- 橋の損傷が深刻化してから修繕や架替え更新を行う従来型管理の橋は、大きな損傷が発見されるまで放置されるため、危険な状態が続きます。
- 計画的な修繕を行う管理に転換することで、**橋の長寿命化と安全性の確保**が図れます。



【ライフサイクルコストの縮減】

- 今後、50年間を対象としたライフサイクルコストの試算では、計画的管理の累計額と従来型管理の累計額の差は約118億円になり、非常に大きな**縮減効果**が見込めます。



【維持管理コストの平準化】

- 従来型管理では、同時期に建設された橋梁の老朽化一斉に進んだ場合、短期間に大規模な修繕や架替え更新が集中し、費用面の対応が困難になることが予想されます。計画的管理により修繕時期を調整することで、**維持管理コストの平準化**が図れます。

6. 新技術等の活用検討

新技術を活用し、橋梁の定期点検や補修工事を経済的かつ効果的に実施することで、橋梁の長寿命化を図ります。新技術については、国土交通省の「点検支援技術性能力タログ」や「NETIS（新技術情報提供サービス）」で公表されている技術を参考に、従来技術と新技術を比較して導入検討を行います。

【活用が期待できる新技術の抽出】

国土交通省の「点検支援技術性能力タログ」や「NETIS（新技術情報提供サービス）」で公表されている技術のうち、本市で活用が見込まれる技術の一部を下記に示します。

■定期点検における新技術活用例（点検支援技術性能力タログ）

技術名・概要	技術番号	効果・特徴
橋梁点検支援ロボット +調書作成支援	BR010018-V0322	点検作業の自動化・省力化。調書作成の効率化。作業時間短縮・人件費削減。
AI画像診断サービス 「ひびみつけ」	BR010024-V0222	ひび割れ等の自動判定で点検精度向上・省力化。判定のバラツキ低減。
3Dデータ活用小型橋梁点検	BR010038-V0022	3Dスキャンで変状を可視化。記録のデジタル化・経年変化の追跡が容易。

■補修工事における新技術活用例（NETIS（新技術情報提供サービス））

技術名・概要	NETIS番号	効果・特徴
R Tワンガードクリア工法	CG-190009-VE	はく落防止、中性化防止による長寿命化。
バイオハクリX-WB	KT-160043-VE	水系塗膜剥離により、環境影響の低減。
ネオハクリ工法	CG-170006-VE	水系塗膜剥離により、環境影響の低減。
サビバリヤー（防錆材）	CB-170003-A	鋼部材の防錆・長寿命化。 再塗装周期延長で維持費縮減。
タフショットクリート工法	QS-180044-A	高耐久性断面修復。再劣化リスク低減。
シラン系含浸材・表面保護工法	KK-220004-A	コンクリート表面からの水分・塩分侵入抑制。 劣化進行抑制。
Znカートリッジ工法（電気防食）	KT-180150-A	鋼部材の腐食抑制。長寿命化・補修周期延長。
メジエイド	HR-240001-A	構造物の目地や伸縮装置の修復、長寿命化。

■定期点検における新技術活用によるコスト縮減目標

令和13年度までに予定している定期点検において、新技術を活用し、130千円の事業費の縮減を目指します。

■補修工事における新技術活用によるコスト縮減目標

令和10年度までに予定している補修工事において、新技術を活用し、6,144千円の事業費の縮減を目指します。

7. 集約化・撤去によるコスト縮減検討

管理橋梁の利用状況や架橋状況、代替路の有無等を踏まえ橋梁の集約化・撤去の検討を行い、短期の目標として、令和10年度までに、観月橋立体交差人道橋の撤去を行うことで令和18年度までの点検に係わる費用等、1,000千円の維持管理費の事業費縮減を目指します。

8. 橋梁ごとの諸元及び直近における点検結果

府中市の管理橋梁の諸元および点検結果を整理した一覧表を示します。

No ※1	橋梁名称	道路種別	路線名	交差名称	橋長 (m)	全幅 員 (m)	面積 (m ²)	桁下 高 (m)	架設年	径間数	使用材料	上部構造形式	特定緊 急輸送通 路	通学路	構造形態※2	2巡目点検年度		R4年時点 判定区分	1巡目点検 判定区分
																R2	R3		
1	白糸橋1号	一般道路	市道2-221号	白糸台通り	10.94	7.5	82.1	4.8	1976	S51	1	RC橋	RCT桁		○	道路橋(車道橋)	○		III
2	白糸橋2号	幹線道路	白糸台通り	白糸台通り	10.54	4.5	47.4	4.9	1976	S51	1	RC橋	RCT桁		○	道路橋(車道橋)	○		III
3	白糸橋3号	幹線道路	白糸台通り	白糸台通り	15.00	6.5	97.5	5.0	1976	S51	1	RC橋	RCT桁		○	道路橋(車道橋)	○		III
4	小柳橋	一般道路	市道2-107号	九中通り	14.76	7.5	110.7	4.7	1984	S59	1	RC橋	RCT桁		○	道路橋(車道橋)	○		II
5	中央道側道1号	幹線道路	中央道側道	矢崎都市下水路	7.50	12.8	94.2	2.2	1965	S40	1	PC橋	PCプレテン床版			道路橋(車道橋)	○		II
6-1	矢崎排水第三号橋	一般道路	市道4-280号	矢崎都市下水路	4.70	12.8	60.0	2.4	1974	S49	1	PC橋	PCプレテン床版		○	道路橋(車道橋)	○		II
6-2	矢崎排水第三号橋(2)	一般道路	市道4-280号	矢崎都市下水路	4.70	12.8	60.0	不明	1962	S37	1	RC橋	RC床版橋			道路橋(車道橋)	○		III
7-1	雑田橋	一般道路	市道4-173号	水路	4.50	6.6	29.7	0.3	1972	S47	3	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		II
7-2	雑田橋(2)	一般道路	市道4-173号	水路	4.50	6.6	29.7	0.3	不明	不明	1	PC橋	PCプレテン床版			道路橋(車道橋)	○		I
8	261号	一般道路	市道6-117号	水路	2.46	5.6	13.7	0.4	1972	S47	1	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		I
9	大山橋	幹線道路	大山道	水路	5.80	11.6	67.5	1.2	1963	S38	1	PC橋	PCプレテン床版		○	道路橋(車道橋)	○		II
10	相模橋	幹線道路	大山道	水路	4.00	6.6	26.4	0.9	1966	S41	1	PC橋	PCプレテン床版		○	道路橋(車道橋)	○		I
11	264号	一般道路	市道6-67号	水路	2.90	3.0	8.7	0.5	1965	S40	1	RC橋	RC床版橋		○	道路橋(車道橋)	○		I
12	208号	幹線道路	東大山道	水路	3.70	5.9	21.8	1.0	1964	S39	1	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		II
13	265号	一般道路	市道6-263号	水路	2.36	6.1	14.5	0.5	1966	S41	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)			道路橋(車道橋)	○		I
14	火の見橋	一般道路	市道6-176号	水路	2.73	4.0	10.9	0.7	1965	S40	1	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		II
15	270号	一般道路	市道6-269号	水路	2.40	6.5	15.6	0.8	1967	S42	2	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)			道路橋(車道橋)	○		II
16	256号	一般道路	市道4-276号	水路	4.54	2.5	11.4	2.5	1967	S42	1	RC橋	RC床版橋		○	道路橋(車道橋)	○		I
17	262号	一般道路	市道6-121号	水路	2.40	2.1	5.0	0.4	1965	S40	1	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		I
18	267号	幹線道路	三屋通り	水路	2.99	5.6	16.7	0.9	1970	S45	1	RC橋	RC中実床版		○	道路橋(車道橋)	○		I
19	鶴代橋	幹線道路	しみず下通り	西武多摩川線	213.00	14.8	3,152.4	-	1990	H2	9	PC橋	ポステンT桁中空床板			道路橋(車道橋)	○		II
20	富士見通り立体橋	幹線道路	富士見通り	JR武蔵野線	71.00	9.3	660.3	7.8	1973	S48	3	鋼橋	鋼溶接橋T桁(非合成)			道路橋(車道橋)	○	I or II (III)※3	III
21	みょうらい橋	一般道路	市道4-90号	JR南武線	16.60	9.8	162.7	5.6	1977	S52	1	PC橋	プレテン中空床板		○	道路橋(車道橋)	○		II
22	第六小前歩道橋	幹線道路	学園通り	学園通り	11.35	1.9	21.6	5.0	1968	S43	7	鋼橋	鋼溶接橋T桁		○	立体横断施設 (歩道橋)	○		I
23	第九小前歩道橋	幹線道路	学園通り	学園通り	12.65	1.9	24.0	4.8	1968	S43	7	鋼橋	鋼溶接橋T桁		○	立体横断施設 (歩道橋)	○		I
24	紅葉ヶ丘歩道橋	幹線道路	多磨霊園南参道	多磨霊園南参道	10.50	1.9	19.9	4.8	1968	S43	7	鋼橋	鋼溶接橋T桁		○	立体横断施設 (歩道橋)	○	I or II (III)※3	III
25	第五小前歩道橋	一般道路	市道6-441号	市川緑道	32.86	3.5	115.0	3.6~6.75	1992	H4	5	鋼橋	鋼溶接橋箱桁		○	立体横断施設 (歩道橋)	○		I
26	西府駅南側西府崖線歩道橋	一般道路	市道6-441号	市川緑道	47.77	2.8	131.4	7.2~7.4	2008	H20	6	鋼橋	鋼溶接橋T桁(鋼床板)		○	道路橋(人道橋)	○		II
27	車返団地横断歩道橋	幹線道路	白糸台通り	白糸台通り	31.32	3.7	115.3	5.0	1975	S50	8	PC橋	ポステン中空床板		○	道路橋(人道橋)	○		III
28	南白糸台横断歩道橋	幹線道路	しみず下通り	しみず下通り	24.47	2.7	64.8	4.9	1975	S50	6	鋼橋	鋼溶接橋T桁		○	立体横断施設 (歩道橋)	○		III
29	府中スカイナード(府中駅北口歩道橋)	幹線道路	府中駅前通り	国道20号	34.54	4	138.1	4.8	1993	H5	1	鋼橋	下路式鋼ラーメン橋	○	○	立体横断施設 (歩道橋)	○		I
30	鏡月橋立体交差人道橋	一般道路	市道4-507号	市道4-507号	8.11	2.4	19.5	4.3	1973	S48	1	RC橋	RC中実床板			道路橋(人道橋)	○		III
31	分倍1号橋	一般道路	市道4-158号	JR南武線	19.40	2.8	54.3	5.1	1929	S4	3	鋼橋	鋼析橋(古レール加工)			道路橋(人道橋)	○		III
32	武藏台3丁目跨線人道橋	一般道路	市道5-174号	JR中央本線	23.00	3.3	76.4	5.6	1960	S35	3	鋼橋	鋼溶接橋T桁(非合成)			道路橋(人道橋)	○		III
33	西武多摩川線横断歩道橋	一般道路	市道2-130号	西武多摩川線	16.60	1.9	31.5	6.9	1973	S48	4	鋼橋	鋼溶接橋T桁(鋼床板)		○	立体横断施設 (歩道橋)	○		III
34	本町2丁目跨線人道橋	一般道路	市道4-122号	JR南武線	55.80	3.5	195.3	6.1	1974	S49	6	鋼橋	鋼製螺旋式		○	立体横断施設 (歩道橋)	○	III (II)※4	III
35	分倍河原駅人道橋	幹線道路	かえで通り	JR南武線	53.77	4.4	236.6	4.7	1978	S53	7	鋼橋	鋼溶接橋T桁(鋼床板)			立体横断施設 (歩道橋)	○		III
36	東芝町地内歩行者用通路階段橋	一般道路	市道5-281号	市道5-281号	19.65	4.5	88.4	-	2014	H26	2	鋼橋	鋼溶接橋鋼析橋(その他)			立体横断施設 (歩道橋)	○		I

*1 管理橋梁は全36橋であるが、1橋で分離構造(別構造形式)がある橋梁(矢崎排水第三号橋、雑田橋)は2橋として計上したため本計画では38橋で集計しています。

*2 本計画では管理種別として「道路橋(車道橋)」、「道路橋(人道橋)」、「立体横断施設(歩道橋)」に分類し、それぞれの橋数は23橋、5橋、10橋となります。

*3 紅葉ヶ丘歩道橋および富士見通り立体橋は、2巡目点検時の判定区分はⅢですが、点検後に補修工事が行われているため、判定区分ⅠまたはⅡに改善していると想定します。

*4 本町2丁目跨線人道橋は、2巡目点検時の判定区分はⅡですが、点検後に階段部に新規損傷が確認されたため、判定区分Ⅲに悪化していると想定します。

【次回点検年度】

道路法施行規則では、橋梁の点検は知識及び技能を有する者が近接目視により、5年に一回の頻度を基本として行うことされています。そのため、本計画でも管理橋梁に対しては、5年毎の定期点検を計画します。

府中市の前回点検（2巡目点検）は、令和2年度から令和3年度にかけて行っているため、次回の定期点検は、その5年後である令和7年度と令和8年度に計画します。

【対策内容】

概ね5年間の長寿命化修繕計画の中で対策実施を計画する橋梁について、想定される対策内容を以下に整理します。各橋梁の対策内容は、前回点検調書のから損傷内容や損傷範囲を確認し、必要と想定される主な対策を概略検討します。

なお、本計画での想定した対策内容は概略検討であるため、別途、補修設計を実施して詳細な工法検討や使用材料の選定を行い、対策内容を決定する必要があります。

9. 対策の着手・完了予定年度及び対策にかかる全体概算事業費

府中市の管理橋梁の対策の着手・完了予定年度及び対策にかかる全体概算事業費の一覧表を示します。

No.	橋梁名	架設年次	構造形式	橋長(m)	判定区分	重要度ランク	年度別工事費(千円) ※税抜き												
							第1期計画 赤字: 実際の費用 (): 計画時の想定費用						第2期計画						
							1年目 平成30年 (2018年)	2年目 平成31年 (2019年)	3年目 令和2年 (2020年)	4年目 令和3年 (2021年)	5年目 令和4年 (2022年)	1年目 令和5年 (2023年)	2年目 令和6年 (2024年)	3年目 令和7年 (2025年)	4年目 令和8年 (2026年)	5年目 令和9年 (2027年)	6年目 令和10年 (2028年)		
34	本町2丁目跨線人道橋	1974	鋼製螺旋式	55.8	III	1		4,700 (5,500)		60,633 (71,000)	3,300 (0)		38,151						
35	分倍河原駅人道橋	1978	鋼溶接橋I桁(鋼床板)	53.8	III	1					4,820		60,000						
32	武藏台3丁目跨線橋	1960	鋼溶接橋I桁(非合成)	23.0	III	1				5,600 (5,000)									
31	分倍1号橋	1929	鋼桁橋(古レール加工)	19.4	III	1													20,000
33	西武多摩川線横断歩道橋	1973	鋼溶接橋I桁(鋼床板)	16.6	III	1					7,000		51,000	123,000					
27	車返団地横断歩道橋	1975	ボスティン中空床板	31.3	III	2									2,500	30,800			
28	南白糸台横断歩道橋	1975	鋼溶接橋I桁	24.5	III	2	0 (2,500)		24,525 (45,200)				5,000	59,700					
3	白糸橋3号	1976	RCT桁	15.0	III	2									2,500	19,100			
1	白糸橋1号	1976	RCT桁	10.9	III	2									2,500	22,600			
2	白糸橋2号	1976	RCT桁	10.5	III	2									2,500	9,300			
6-2	矢崎排水第三号橋(2)	1962	RC桁橋	4.7	III	3									7,000	50,000			
30	観月橋立体交差人道橋	1973	RC中実床板	8.1	III	5									4,000	6,100			
19	鶴代橋	1990	ボスティンT桁中空床板	213.0	II	1													
21	みょうらい橋	1977	プレテン中空床板	16.6	II	1													
26	西府駅南側西府崖線歩道橋	2008	鋼溶接橋I桁(鋼床板)	47.8	II	2													
4	小柳橋	1984	RCT桁	14.8	II	2													
9	大山橋	1963	PCプレテン床版	5.8	II	2													
6-1	矢崎排水第三号橋	1974	PCプレテン床版	4.7	II	3													
7-1	雑田橋	1972	RC中実床版	4.5	II	3													
12	208号	1964	RC中実床版	3.7	II	3													
14	火の見橋	1965	RC中実床版	2.7	II	3													
5	中央道側道1号	1965	PCプレテン床版	7.5	II	4													
15	270号	1967	RC構橋(BOXカルバート)	2.4	II	6													
20	富士見通り立体橋	1973	鋼溶接橋I桁(非合成)	71.0	I or II (III)	1			14,500 (13,500)		60,500 (142,700)	91,242 (188,400)	233,000						
29	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	1993	下路式鋼ラーメン橋	34.5	I	2													
25	第五小前歩道橋	1992	鋼溶接橋箱桁	32.9	I	2	2297.5		80,834										
23	第九小前歩道橋	1968	鋼溶接橋I桁	12.7	I	2	2297.5 (2,500)	(28,700)	83,661										
22	第六小前歩道橋	1968	鋼溶接橋I桁	11.4	I	2	2297.5 (2,500)	59,157 (27,800)											
24	紅葉丘歩道橋	1968	鋼溶接橋I桁	10.5	I or II (III)	2	2297.5 (2,500)		69,900 (27,500)										
7-2	雑田橋(2)	不明	PCプレテン床版	4.5	I	3													
16	256号	1967	RC床版橋	4.5	I	3													
10	相模橋	1966	PCプレテン床版	4.0	I	3													
18	267号	1970	RC中実床板	3.0	I	3													
11	264号	1965	RC床版橋	2.9	I	3													
8	261号	1972	RC中実床版	2.5	I	3													
17	262号	1965	RC中実床板	2.4	I	3													
13	265号	1966	RC構橋(BOXカルバート)	2.0	I	6													
36	東芝町地内歩行者用通路陸沈橋	2014	鋼溶接橋鋼桁橋(その他)	19.6	I	7													第2期計画合計
老朽化対策事業費	補修工事費(千円)						0	59,157	189,020	130,533	211,320	0	98,151	110,700	129,100	81,800	50,000	469,751	
	設計費(千円)						9,190	4,700	14,500	5,600	8,120	7,000	5,000	0	10,000	7,000	20,000	49,000	
	点検費(千円)						0	0	13,500	15,500	0	0	0	16,000	17,000	0		33,000	
	JR委託費【JR敷地内点検費、き電停止費等】						0	0	0	18,376	0	0	0	0	18,376	0		18,376	
	修繕計画改訂費(千円)						0	0	0	0	8,650	0	0	0	0	10,000	0	10,000	
老朽化対策費 合計(千円)						9,190	63,857	217,020	170,009	228,090	7,000	103,151	126,700	174,476	98,800	70,000	580,127		
防災対策事業費												91,242	233,000	0	0	0	0	324,242	
耐震補強工事費(千円)						9,190	63,857	217,020	170,009	228,090	98,242	336,151	126,700	174,476	98,800	70,000	904,369		

*第2期計画は実施予定年度

計画策定担当部署

府中市 都市整備部 道路課